

**区分 I**：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する事業【病床の機能分化・連携】

平成28年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業に関する意見まとめ[南河内圏域]

9 / 30 時点

| 事業<br>番号<br>H27  | 事業<br>番号<br>H28 | 区分   | 事業名   | 事業の概要  | 実施者   | 事業評価 |    | 改善<br>視点 |    | 改善内容  |        |
|--|-----------------|------|---|--|-------|------|----|----------|----|---|--------|
|  |                 |      |   |  |       |      | 人数 |          | 人数 |   |        |
| <b>区分 I：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する事業【病床の機能分化・連携】</b> |                 |      |   |  |       |      |    |          |    |   |        |
| 1  | 1               | I    | 病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備<br>病床機能分化・連携を推進するための基盤整備事業<br>(病床転換) | 地域医療構想を踏まえ、病床の機能分化を推進するため、二次医療圏ごとに過剰となる病床から不足する病床へ転換する病院の取り組みを支援するため、必要な施設の新増改築や改修に係る工事費等の一部を補助する。 | 府内各病院 | 意見なし | 8  |          |    |   |        |
|  |                 |      |   |  |       | 現状維持 | 7  |          |    | ・高齢者の在宅復帰の支援等、地域包括ケア病棟の必要性を感じている。   |        |
|  |                 |      |   |  |       | 改善   | 1  | 執行方法     | 1  | ・病院からのデータが不完全。  |        |
|  |                 |      |   |  |       | その他  | 1  |          |    | ・地域医療の充実には基礎整備は必要と考えられるので事業推進を希望します。  |        |
| 5  | 2               | I    | ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備<br>・地域医療機関ICT連携整備事業                 | 地域診療情報ネットワークの導入や拡大によって、圏域内に必要な医療機関の機能分化および病診連携の推進を図る。地域診療情報ネットワークの導入や拡充に必要な機器整備、工事費等の初期経費を支援する。    | 府内各病院 | 意見なし | 9  |          |    |   | ・詳細不明。 |
|  |                 |      |   |  |       | 現状維持 | 3  | 執行方法     | 1  | ・導入にあたっては、多職種、多機関と事前に調整のうえ、運用方法等の検討が必要。   |        |
|  |                 |      |   |  |       | 改善   | 4  | 事業連携     | 1  | ・一方通行、病院間のネットワーク。   |        |
|  |                 |      |   |  |       |      |    | 執行方法     | 1  | ・ICTを導入する医療機関は、地域の診療所との連携が多いところの方がメリットが多いと考えられるため、限りある基金を効果的に活用するためにも医療機関に一定の条件があってもいいと考える。事業自体は良いと考え、維持すべきである。 |        |
| その他  | 2               | 補助経費 | 2   | ・将来にわたり、維持費低減が求められる。<br>・高齢化社会を迎える中で医療介護の連携が重要であり、初期導入経費のみでは拡充が難しいため、ランニングコスト等も拡充を希望します。           |       |      |    |          |    |   |        |
|  |                 |      |   |  |       |      |    |          |    | ・地域診療情報ネットワークの充実には地域医療機関の情報共有に必要と考えられるので事業推進を希望します。<br>・府よりアンケートあり、希望している。問い合わせしたところ、準備中とのこと。                   |        |

【区分 I】：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する事業【病床の機能分化・連携】

平成28年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業に関する意見まとめ【南河内圏域】

9 / 30 時点

| 事業<br>番号<br>H27 | 事業<br>番号<br>H28 | 区分 | 事業名   | 事業の概要  | 実施者                 | 事業評価 |    | 改善<br>視点 |    | 改善内容   |
|-----------------|-----------------|----|---|--|---------------------|------|----|----------|----|--|
|                 |                 |    |   |  |                     |      | 人数 |          | 人数 |  |
| 6               | 3               | I  | ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備<br>・救急搬送・受入体制強化システム改修事業                   | 救急搬送された患者の病院後情報収集や、救急搬送が困難になっている患者の受入れ体制強化に向けて、救急・災害医療情報システム及びORION（救急搬送・情報収集・集計分析システム）の改修を行う。                 | -                   | 意見なし | 9  |          |    | ・ORIONに頼りすぎでは、臨機応変な対応ができないところを改善。<br><br>・救急搬送患者の情報収集とスムーズな受け入れ態勢の強化は医療の充実と今後起こりうる巨大地震や災害時の備えとして充実の必要性を感じますので継続を希望します。     |
|                 |                 |    |   |  |                     | 現状維持 | 5  |          |    |  |
|                 |                 |    |   |  |                     | 改善   | 1  | 執行方法     | 1  |  |
|                 |                 |    |   |  |                     | その他  | 2  |          |    |  |
| 8               | 4               | I  | ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備<br>・訪問看護ネットワーク事業（訪問看護ステーションの機能強化のための設備整備） | 複数の訪問看護ステーションや訪問看護と介護、医療機関等が相互に連携する事業及び訪問看護ステーションの規模拡大を支援・強化することにより、訪問看護の安定的な供給を実現し、もって訪問看護サービスの向上を図ることを目的とする。 | 大阪府・大阪府訪問看護ステーション協会 | 意見なし | 9  |          |    | ・訪問看護の重要性が、医師及びケアマネ、介護者に理解されるための努力<br>・摂食嚥下障がい者は増加傾向が予想されるなか、介助者・介護者への研修・指導も含め助成をお願いします。<br>・訪問歯科医療を充実していく上でも本事業の推進を希望します。 |
|                 |                 |    |   |  |                     | 現状維持 | 5  |          |    |  |
|                 |                 |    |   |  |                     | 改善   | 2  | 事業連携     | 1  |  |
|                 |                 |    |   |  |                     | その他  | 1  | 執行方法     | 1  |  |

【自由記載欄】